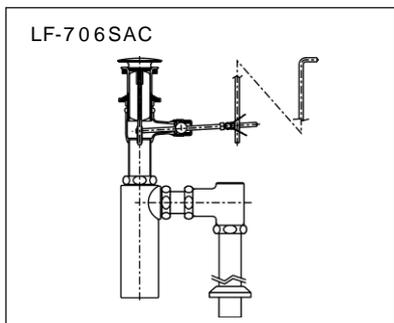


# ポップアップ式排水金具(排水口カバー付)

LF-701SAC LF-706SAC

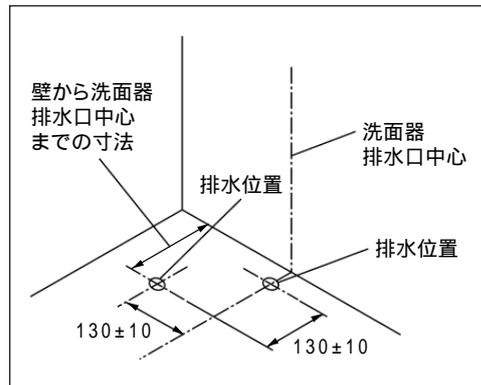
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。  
なお施工完了後、この説明書をお客さまにお渡しください。

## 商品図



## 排水位置の確認

洗面器排水口中心に対して排水位置が $130 \pm 10$ mmの範囲に立ち上がっていることを確認してください。



## 安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。  
この施工説明書は、お客さまで保管頂くよう依頼してください。

### 用語の解説

**注意**…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

## 注意

陶器は割れものです。

- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。  
陶器が割れてケガをする恐れがあります。

施工後に漏水検査を必ず行ってください。  
漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

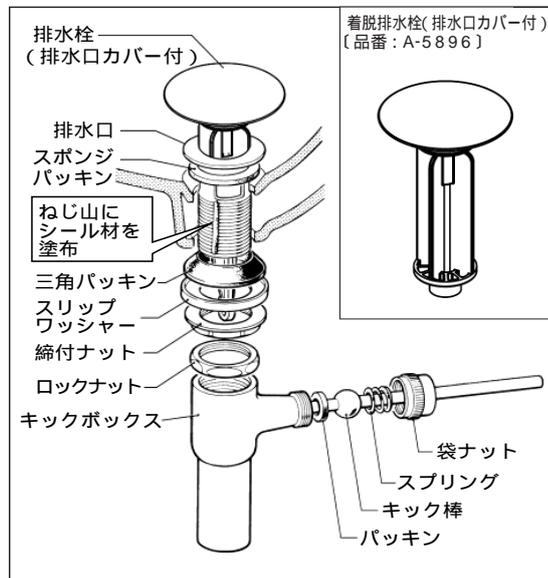
## 施工前のご注意

商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。  
工具を掛ける際には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

## 洗面器排水金具の取付け

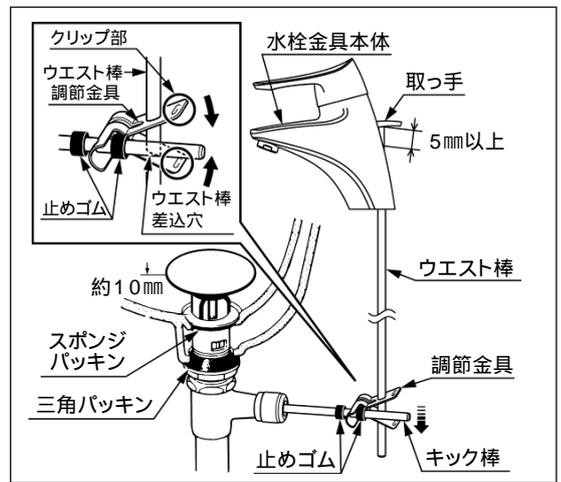
### (1) 排水金具の締付け

- 排水口のツバ下パッキンには、スポンジパッキンが使用してあります。しかし、ねじ山をつたって漏水することが考えられますので、図のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際、締めすぎにならないよう注意してください。  
排水金具が変形し漏水の原因になります。
- 排水栓(排水口カバー付)が「閉」状態の時にキック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込み、ロックナットでキックボックスをしっかりと固定してください。  
着脱排水栓(排水口カバー付)の場合は、上から排水口に差し込みます。  
排水栓(排水口カバー付)は、取り外して清掃可能な着脱排水栓(排水口カバー付)があります。  
ご希望に応じて別途手配してください。(品番:A-5896)
- キック棒の袋ナットを漏水しない程度に締め付けてください。この際、締めすぎにならないよう注意してください。  
キック棒の動きが重くなります。

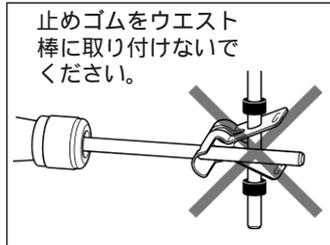


## (2) ウエスト棒の取付けおよび調節

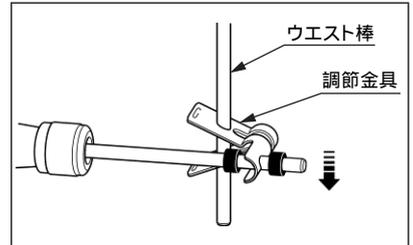
- ① キック棒に止めゴムと調節金具を図のように組付けてください。
- ② ウエスト棒を水栓金具本体に通し、さらに調節金具のクリップ部を摘みながらウエスト棒差込穴に通してください。
- ③ 排水栓の開閉（約10mm程度上下します。）が行えるように、調節金具のクリップ部を摘みながらウエスト棒の高さを調節してください。このとき、取っ手と水栓金具本体とがぶつからないように、5mm以上の隙間をあけてください。
- ④ 排水栓の開閉が円滑に行えることを確認したら、止めゴムで調節金具が動かないように挟んでください。  
（止めゴムの間隔は10mm以内）  
調節金具に干渉しないように、水栓金具の給水ホースを取り回してください。破損して漏水する恐れがあります。



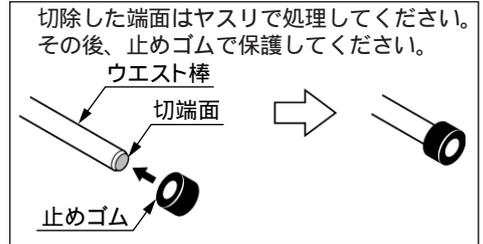
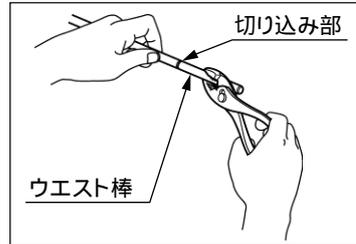
止めゴムを付けない場合は、調節金具がキック棒より外れ正しく作動しない恐れがあります。



水栓金具によりウエスト棒が斜めに挿通される場合や、ウエスト棒の操作が重い場合は、調節金具の向きを右図のように反対にして取り付けてください。

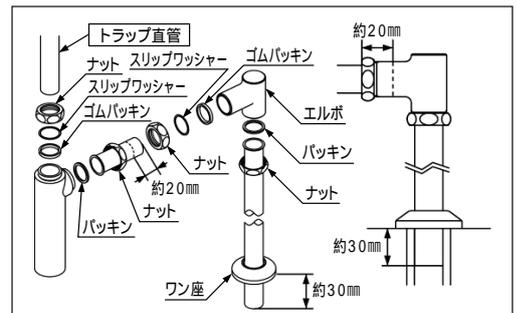
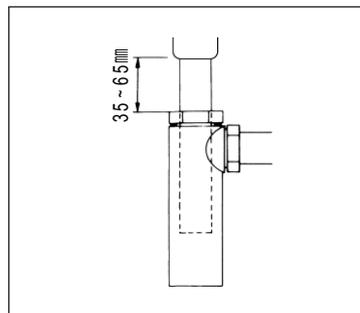


ウエスト棒が長すぎて排水管等に干渉する場合は、下端にある切り込みより、プライヤー等を用いて切除してください。



排水管の接続を行ってください。  
差込みしろ約30mmを残して切断してください。  
トラップ直管は、絶対に切らないでください。  
右図の寸法は35～65mmになっていることを必ず確認してください。  
エルボとの差込みしろは約20mm確保してください。

### [ ボトルトラップ封水深の確認 ] [ ボトルトラップの取付け ]

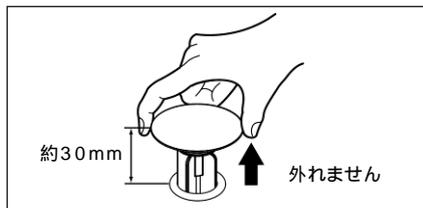


## お手入れ

### 清掃方法

排水口等を清掃する際は、排水栓（排水口カバー付）を上を持ち上げて、清掃空間を確保します。

排水栓（排水口カバー）は約30mm程度持ち上げられます。（外すことはできません）



普段のお手入れは、次のことに注意してください。

### 軽い汚れの場合

水またはぬるま湯で湿らした布で、汚れをふきとってください。

### ひどい汚れの場合

食器洗い用中性洗剤を薄めて、含ませた布で、汚れをふきとったあと、水洗いして、からぶきしてください。

また、次のものは使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。

- 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤



この説明書は、必ずお客様にお渡しください。